

みずほCustomer Desk Report 2023/02/27号(As of 2023/02/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	134.31
TKY 9:00AM	134.63	1.0600	142.66	1.2016	0.6810		
SYD-NY High	136.52	1.0614	144.00	1.2042	0.6824		
SYD-NY Low	134.05	1.0536	142.18	1.1928	0.6719		
NY 5:00 PM	136.52	1.0545	143.91	1.1940	0.6726		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	32,816.92	▲ 336.99	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%		
NASDAQ	11,394.94	▲ 195.46	日本10年債	0.5000%	0.0000%		
S&P	3,970.04	▲ 42.28	米国2年債	4.8126%	0.1100%		
日経平均	27,453.48	349.16	米国5年債	4.2108%	0.0956%		
TOPIX	1,988.40	13.15	米国10年債	3.9462%	0.0567%		
シカゴ日経先物	27,335.00	100.00	独10年債	2.5280%	0.0620%		
ロンドンFT	7,878.66	▲ 29.06	英10年債	3.6560%	0.0720%		
DAX	15,209.74	▲ 265.95	豪10年債	3.8640%	▲0.0280%		
ハンセン指数	20,010.04	▲ 341.31	USDJPY 1M Vol	12.15%	▲0.85%		
上海総合	3,267.16	▲ 20.32	USDJPY 3M Vol	11.97%	▲0.35%		
NY金	1,817.10	▲ 9.70	USDJPY 6M Vol	11.37%	▲0.19%		
WTI	76.32	0.93	USDJPY 1M 25RR	▲1.29%	Yen Call Over		
CRB指数	267.15	0.21	EURJPY 3M Vol	11.17%	▲0.43%		
ドルインデックス	105.21	0.62	EURJPY 6M Vol	11.02%	▲0.17%		

東京	東京時間のドル円は植田次期日銀総裁候補の所信聴取を控えて神経質な相場のなか134.63レベルでオープン。注目された所信聴取の発言内容は黒田現日銀総裁の意向を踏襲するものに留まつたものの、仲値の実需フローが重なり一時134.05まで下落。その後急速に買戻されて134.91までつけるも、上値を追う展開とはならず134.63レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は134.63レベルでオープンし、米長期金利の大幅上昇を眺めて堅調推移。一時135.69まで切り上げて年初来高値を更新。135.67レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は135.67レベルでオープン。朝方はFRBがインフレ指標として注目している米1月PCEデフレータが予想を上回り、高インフレへの懸念再燃から債券安・株安・ドル高の流れが強まった。136円も難なく突破し、136.46をタッチ。午後は高値圏で小動きとなるも2022年12月以来の水準となる136.52まで上昇。結局、そのまま高値136.52レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.0600付近でスタート。欧州勢参入後は米金利上昇に圧迫され1.0564まで反落し、1.0566レベルでNYオープン。朝方は米PCEデフレータの結果を受けてドル買い優勢となり、1.0536まで下落。しかし、米金利とともに欧州圏の金利水準も上昇しており、ドイツ2年債利回りが2008年以来の水準となる3%台をつける中、欧米金利差は大きく拡大せず、ユーロドルも下げ渋る。午後は1.0550近辺で上値重く推移し、結局、1.0545レベルでクローズ。

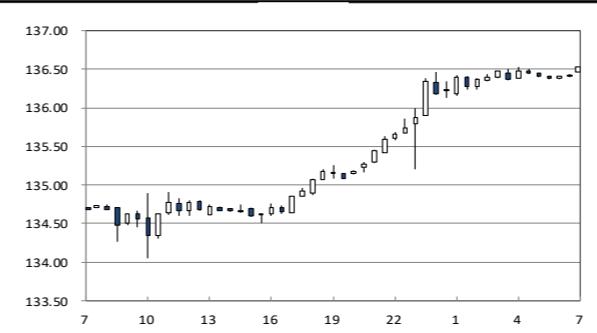
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月24日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	1月 4.3%/4.2%/3.2%	4.3%/4.3%/3.3%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	2月 -38.0	-43.0
	09:30	日 衆議院議会 植田日銀総裁候補所信聴取	「現在の金融政策は適切」	
	16:00	独 GDP(前期比)・確報	4Q -0.4%	-0.2%
2月25日	22:30	米 PCEデフレータ(前月比/前年比)	1月 0.6%/5.4%	0.5%/5.0%
	00:00	米 新築住宅販売件数	1月 670k	620k
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 67.0	66.4

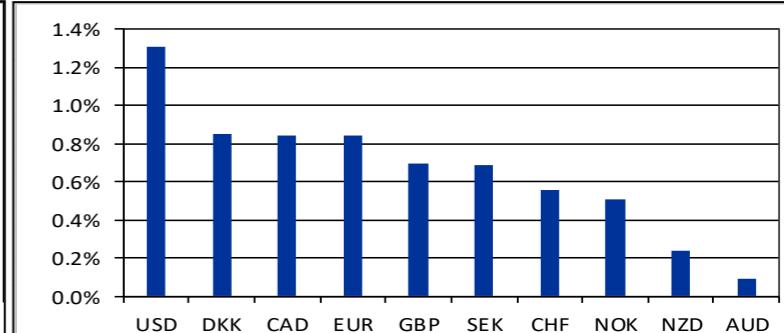
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月27日	14:00	日 景気一致指数・確報	12月 -	98.9
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	2月 -	-19.0
	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	2月 1.8	1.3
	19:00	欧 サービス業信頼感指数	2月 12.1	10.7
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	1月 -4.0%	5.6%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	1月 0.2%	-0.2%
2月28日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 1.0%	2.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.50-137.20	1.0500-1.0650	142.80-144.80

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は136円半ばまで上昇。東京時間朝方には本邦CPI発表前に仕掛け的に円高進行するものの、結果は予想範囲内ということで下値では買いが入った。その後の日銀正副総裁所信聴取では、候補者からタカ派発言は見られず。現在の緩和路線を当面継続する発言にドル円は底堅い動きを取り戻した。円を積極的に買う材料がなくなった状況で、海外時間に発表された米インフレ指標が予想比上振れとなると米金利の上昇も加わり、ドル円は一気にストップを巻き込みながら136.52まで上昇した。本日もドル円底堅い動きが継続か。強い米指標に利上げ織り込みが進む中でドルを売る材料に乏しく、また所信聴取を受け慌てて円を買う状況でもない。水準感から売りフローも出やすいと思われるが、絶対的な金利差を背景にドル円は新しい材料がでてくるまでは底堅い展開が続きそう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・松木